

平成28年8月15日
四国電力株式会社
取締役社長 佐伯勇人

伊方発電所3号機の発電再開について

伊方発電所3号機は、本日、14時18分に発電を再開いたしました。

今後は、発電機出力を段階的に上昇させ、出力毎のプラント状態を確認してまいります。引き続き、国の検査に真摯に対応するとともに、緊張感をもって、安全確保を最優先に今後の工程を進めてまいります。

伊方発電所3号機は、平成23年4月に定期検査入りして以降、5年以上の歳月をかけ、安全性の向上に取り組んでまいりました。ここに至り、四国における安定的かつ低廉な電力供給を支える基幹電源の発電を再開できたことは感慨深く、当社にとりましても、事業運営の安定化の観点から、大変意義あるものと考えております。

一方で、私としましては、本日の発電再開は決してゴールではなく、新たなスタートと位置付けております。

申すまでもなく、原子力発電所の運営には、地域の皆さまのご理解が欠かせません。これからも、地域の皆さまから信頼され、ご安心いただけるよう、伊方発電所3号機の安全・安定運転を継続するとともに、情報公開の徹底と丁寧な理解活動に全力を尽くしてまいります。

以上